



- ワールドユニティデイの案内
- WCNA 19:不思議な力が「あそこには」あった
- WSC 2018で特筆すべきこと
- NA Way読者調査



世界中で 読まれている NAの定期刊行

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ペルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』というNAの回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ

NA World Services, Inc.
PO Box 9999
Van Nuys, CA 91409 USA
Telephone: (818) 773-9999
Fax: (818) 700-0700
Website: www.na.org

NA Way マガジンでは、読者のみなさんが参加されるのを待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんのこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせいただきたい。

NA Way マガジンは、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されていない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、naway@na.orgにメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine : ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

編集者から、ひとこと

わたしのホームのわかちあいで、ある仲間が「ミーティングに参加すると、神聖な場に身を置いていると自覚する」と言っていた。この話から、わたしは2018年度のワールド サービス カンファレンスのテーマを思い起こした。『このような共通の立場で、私たちは全力を尽くす』だ。これは、「NAのサービスにたくす未来」から引用されたもので、『NAグループが何をあいてもまず、回復のメッセージを運ぼうとしていれば、ナルコティクス アノニマスの努力はかならず身を結ぶのだ』という文章の後にくる。それによって、NAのメッセージを運ぶことは私たちの第一の目的であり、私たちの共通の立場とはスピリチュアルな場でもあるのだと気づかされる。このスピリチュアルな場になるものがWSCであり、それが今回はWSC始まって以来のことづくしになった。おそらく今回のテーマは、NA全体のために行われる議事の間がスピリチュアルな場になるように導くものでもあったのだろう。今月号にはそのようなWSCの一部がまとめられているが、詳しいことを知るには『NAWSニュース』(www.na.org/newsnews)とwww.na.org/conference をご覧いただきたい。

今月号の『わかちあい』は、紙面に収めるのに苦労した。オランダで開催されたWCNA19に参加し、今年もう一度オランダに戻るWCNA37にも参加するメンバーたちの思い出話や、WCNA 22の企画実行を手伝ったメンバーの経験談など、実に盛りだくさんだ。そして、世界各国のホームグループやイベントを祝って『グループ紹介』のページも拡大した。みなさんの多くがWCNA 37で今月号を読むことになるだろうが、できれば、いくつもの追加記事を楽しめるようにインターネット版のNA Way マガジンであってほしいものだ。さもなければ、www.naway.org でインターネット版の定期購読手続きをしよう。

さて、NA Wayの読者調査(P 17)の時期が来た。NA Wayでは、回復とサービスに関する情報とともに、世界中のメンバーたちに耳寄りな問題や出来事を取り上げて、回復がもたらす楽しさを伝えられるように力を注いでいる。どうか、調査の全項目に記入するようお願いいたします。回答は、今月号にある質問に記入してプリントアウトしたものを、ファクスか、郵送か、またはEメールによって送っていただくか、または[ホームページにあるアンケート](#)に直接記入してください。

ド・J (エディター)

今月号の掲載記事

特集記事	3	WCNA 19: 思議な力が「あそこには」あった 9
・ タイで回復の道を歩む		WSC 2018: このような共通の立場
ベーシック・キャプション・コンテスト	4	で、私たちは全力を尽くす 10
わかちあい	5	ワールド ユニティ デイ 2018 13
・ 性別にとらわれないアディクト		グループ紹介 14
・ 最後の最後に		NA Way 読者調査 17
・ 成功物語		Calendar 18
・ サービスによって強くなる		NAWS Product Update 19
・ ずっと歩んでいく		Coming Soon 20
・ たまに感謝を忘れるのは、なぜか …		
・ 自由を、心に思い描く: WCNA 22		

電子版はここをクリックすると追加のコンテンツを見られます

NA Way マガジンでは、読者のみなさんからの便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとめていけば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。



タイで 回復の道を歩む

わたしはアディクトのナット。タイのチェンマイに住んでいる。といっても、元からタイにいたわけじゃない。わたしが使うようになったのは、ロスアンジェルスにいたころ。13年間、やめるにやめられないでいた。やめるとなれば、きっぱりとやめる。でも、長くは続かない。やめていられるのは、せいぜい2年というところだった。わたしは自信過剰で、これでもう大丈夫だと思う。すると、日々の生活があつという間につまらなくなっていく。退屈をもてあまして薬物に手を出す。悪循環の繰り返しだった。

それも、ある日、もうやってられなくなった。「なにかも」がいやになった。使うのもうんざりだし、そして何よりも自分に嫌気がさした。薬物じゃもうどうにもならないし、あたしには人生を終わらせる勇気もなかったから、「いいわよ、生きるわよ」ということになった。

ロスアンジェルスあたりじゃNAのミーティングがあちこちで開かれるようになっていたのに、当時のわたしはNAのことなんか知りもしなかった。ただ使わないでいただけだから、性格は悪いし、頭も鈍くなった。あんな道を歩んでいても、孤独で、あたしは内側から崩壊しつつあった。身体は、どこも悪くなかった。もう使ってなかったもの。でも、心と精神はひどい苦痛にあえいでいた。もちろんそんなことは無視して、素振りにも見せなかった。あたしは遠くに逃げたくて、タイに移った。そして、ここであたしはNAと出会った。

あたしはNAの会場に足を踏み入れても、神を信じる気持ちなどなかった。それでも通い続けたのは、回を追うごとに、楽になっていったから。ちょっとばかり孤独感が薄らいだ。そうして日を重ね、週がすぎ、月が変わっていくうちに、NAには自分を本当に理解してくれる人がいることに気づき、NAが自分の居場所になっているとわかった。だからといって、すんなり回復していったわけじゃない。考え方が、一夜にして変わることはないからだ。あたしの考えていることはまだまだ油断がならないけど、NAで歩む道はもう孤独じゃない。

あたしは、タイのなかでもNAが知れわたっていないところに住んでいる。ただ、ミーティングがいくつもあったとしても、アディクトであることは汚名なので助けを求めるのがむずかしい。女性であれば、なお大変だ。NAのミーティング場には、タイの女性はまずいない。外にはまだ傷ついている仲間がたくさんいるはずなのに。みんな、どこにいるの？

その一方、カトマンズ (ネパール) で開かれたNAの第1回 アジア・パシフィック (アジア太平洋) フォーラム コンベンションで、あたしは素晴らしい経験をした。あたしたち女性が特に評価され、アジアパシフィックフォーラムに喜んで迎えられたのだ。NAのプログラムは、性別に関係なくあらゆる人に役立つ。だから、いつの日か、タイのNAがタイ人のメンバーたちでいっぱいになり、女性たちが同じアディクトと集まることで安心感を得られるようになるだろうと、あたしの胸は希望でふくらむ。

あたしは使っていたころ、週に何百というミーティングが開かれる都市に住んでいたのに、一度もミーティングに足を踏み入れたことがなかった。それが今は、タイに住んで、NAにいる。といっても、タイのNAではミーティングの数も少ないし、できることも限られている。だから、英語とタイ語を話せるあたしが役に立とうという意欲をもってタイのNAにいるのは、自分より偉大なものによる壮大な計画なのだと、信じるしかない。まさに、自分が手にしたものは、手渡すことによってしか自分のものにはならないってことだわ。

ナット・A (タイ/チェンマイ)



2017年5月号発行の『アジア・パシフィックフォーラム ニュース』第44号より転載

ベーシック・キャプション・コンテスト

*ベーシック・キャプションは、「ツボを押さえたひとこと」です。

ここに、みなさんがNAWayマガジンに参加できる新企画をご用意しました。左にあるコミック（漫画）のキャプション（短い説明文）を書いて送っていただくだけで、そのままキャプション・コンテストに参加できてしまうのです。みなさんのキャプションから傑作と思えるもの（1点とは限らないかもしれませんが）を選んで、次回のNA Wayマガジンに掲載させていただきます。そうやってNA Wayに名前が載るといっても、なかなかいいものでしょう。

申し込みは、Eメールで受けつけています。宛先は naway@na.org。件名は「ベーシックキャプション・コンテスト」とし、本文には名前と住所を必ず記入するようにお願いします。



撮影者：コナー・H（アイルランド/ダブリン）

**この仲間が食べたフォーチュンクッキー*には、
どんなお告げが書かれていたのでしょうか？**

(訳注) * 中華料理に添えられている「おみくじ入りのクッキー」

NA Way マガジン @ WCNA37:

**みんなの回復がもたらす
不思議な力をわちあいましょう**

- 世界中の仲間たちと一緒に「魔法のようなひととき」をつくりだそう。
- 無心になって、塗り絵のページをNA一色に彩ろう。
- 『NA Wayマガジン』の読者調査に記入しよう。
- インターネット版『NA Wayマガジン』の定期購読の手続きをしよう。
- 『NA Wayマガジン』のレポーターになって、いろんな話を集めて報告しよう。
- WCNA37で、『NA Wayマガジン』コーナーを手伝うボランティアになろう。

詳しくは、naway@na.org にご連絡下さい

現地では、OCCC西館入り口近くにいる
NAWSのスタッフにお訪ねください。

インターネット版定期購読

『今日だけ』
日々の黙想

『NAWSニュース』

『リーチングアウト』

『NA Wayマガジン』

NAWS
最新情報
登録配信

**WCNA 37
最新情報**

**定期購読の申し込み:
www.na.org/subscribe**

情報を共有する
www.na.org/localresources

プロジェクトに関する意見提供
www.na.org/projects

ウェビナーに参加する
www.na.org/webinar









参加しよう!!



性別にとらわれないアディクト

わたしはトランスジェンダーのアディクトで、クリーンタイムは34年です。週に4~5回ミーティングに出て、サービスにも関わっています。住んでいるのは辺鄙な地域。10マイルほど離れたところにNAグループが1つあり、週に2回ミーティングを開いています。それ以外で最も近いNAミーティングは、45マイルほどの距離を行かなくてはなりません。それができないときには、NA以外の12ステップ・グループのミーティングに参加していますが、わたしの心はNAにあります。わたしが12ステップによるサービスに関わるのは、NAしかないからです。週に4回か5回NAミーティングに出られるといいのだけど、わたしの住む山間部では支援が十分にあるわけではありません。そういう地域でNAミーティングを開いていると、出席者の数は3人から8人の間で変化し、わたしひとりという夜も少なくありません。

エリアのサービス委員会には、役割についていなくても定期的に出席しています。最初のスポンサーは、エリアの文献担当係でした。わたしはクリーンになって1年半かそこらで、スポンサーからその係を引き継いだのです。当時は、スーツケースひとつあれば、エリアの文献を運ぶことができました。わたしは長年の間、いくつかの州のいくつかのエリアで文献担当係を務めてきました。わたしのお気に入りのサービスです。わたしがメッセージを運ぶと言ったら、文献を運ぶと言ってるわけで、それがおもしろい。わたしたちのエリアには30~40ぐらいグループがあるので、毎月2500ドル相当の文献を頒布しています。現在の在庫は、ぎっしり詰めて収納箱8つくらいあります。わたしは今、この役割についていけないけれど、なるべくこまめに足を運んで文献の注文処理を手伝っています。

すでに書いたとおり、わたしはトランスジェンダーです。なぜ、わざわざそう書いたかという、わたしがカミングアウトして転向するのに、NAがとても重要な役割を果たしてきたからです。わたしはいくつものジェンダー・サポートグループに出席しましたが、そこにはNAで見出したもの、つまり解決はありませんでした。トランスジェンダーの人たちは、アディクションやうつ病のほかにもいろいろなことでごく苦しんでいます。さまざまな研究により、トランスジェンダーの成人が自殺を考える可能性は一般の人より14倍も高く、自殺を試みる確率は22倍も高いという事実が示されています。これまでに参加したサポートグループでは、問題について話すばかりで、手術以外の解決策に話が及ぶことはほとんどありません。わたしの考えでは、手術をしたって「真の」問題を解決することにはならないのです。わたしにとって真の問題は、自分自身を受け入れることができないことと、カミングアウトに関するありとあらゆることを恐れていることでした。

ですから、わたしは回復の道を歩むようになって、29年間は人目を忍んで生きていました。カミングアウトしようとしてから、NAの原理によって生きれば自分が女性として成長し幸せになれるということがわかったのです。正直さ、受容、誠実、意欲、信じる気持ち、忍耐などの原理が、わたしを今のよう人間に変えてくれたのです。NAの仲間たちから愛されて認めてもらえることが、計り知

れないほどの助けになりました。わたしは、やはり近い将来に手術を受けようと思っています。でも、手術によって身体は変わりますが、スピリチュアルな面が修正されるわけではありません。NAは34年にもわたってわたしをスピリチュアルな面で改善してくれたし、これからもそれは続いていく。一日、また1日と、無限のコインを手にするまで（これは、焦って集めるものでもありませんからね）。

ステファニー・P（アメリカ合衆国/コロラド）



最後の最後に

僕はアディクトのシャーリアル。いつも人前で何かをして注目を集めるのが好きだった。かっこつけていたかったんだ。つきあうのはみんな年上で、法に反するようなことばかりしている連中だった。でも、僕のなかには変な感覚があって、自分が手にしているものには満足できないでいた。何があってもなくても、僕はいずれアディクトになるように仕向けられていたらしい。最初は遊びで薬物に手を出したのが、数年後には、なにがなんでも薬物を手に入れようとする危険なアディクトになっていた。友人や大事な人たちに依存しきって、そのひとたちの物を盗むことをなんとも思わなくなっていた。薬物の使用や所持で、何度か刑務所に入った。使うのをやめようと思っても、やめられなかった。きっとひとりであるからいけないんだと思い、結婚することにしたが、それもはかない夢だった。やがて親も、友だちも、愛する妻も、みんなが愛想をつかし、僕は完全にひとりぼっちになってしまった。

そして最後の最後に、親しい友人のひとりからNAのメッセージが届いた。それまであらゆる方法でやめようとしては必ず挫折したので、僕はアディクトがクリーンになって回復できるとは思ってなかったけど、NAのミーティングに行った。何が起きたのかかわらないけど、それはこれまで経験したなかでもとびきり素晴らしい夜になった。それまで、僕は愛する人たちから死んでくれればいいのと思われていた。あの夜のミーティングで奇跡が起こったんだ。僕のようなアディクトには一晩使わないでいようとするだけでも夢なのに、その夢が現実になった。あの夜、知り合いでもなんでもないのに、僕をハグしてくれる人がいた。親切なメンバーが僕の手を

とって、真心をわかちあってくれた。仲間たちから教えられたとおりに、僕はミーティングにきちんと通った。スポンサーを決めて、ステップをやった。ナルコティクス アノニマスの12のステップに取り組むことによって、僕は行いを改めることができたんだ。

ひとりのアディクトがもうひとりのアディクトを手助けすることほど、尊いことはない。そうして回復がもたらされたのだから、僕も仲間の手助けをするようになった。僕はスポンサーの助けを借りて埋め合わせをすることにした。僕のせいで傷ついていた妹に埋め合わせができるなんて、本当に素晴らしいことだった。あの日のことは、一生忘れないだろう。僕は家族から許された。それから4年半して、妻が家に戻ってきた。ふたたび夫婦で暮らすようになって1年後、僕が6年目のクリーンタイムを迎えた日に息子が生まれた。神から最高の贈り物を授かったんだ。その息子も、もうすぐ6歳になる。ということは僕のクリーンタイムは12年になるんだ。

NAには感謝している。こうして生きているのはNAのおかげだし、もうひとりのアディクトに回復をわかちあうとき、生きていて本当によかったと思う。同じアディクトのために尽くすことは、生命保険のようなものなんだ。

シャーリアル・N
(イラン/テヘラン)

成功物語

私のアディクションと回復については、若いころの話から始めよう。私は、気持ちよくなることや自然に気分を高揚させてくれるものがあると、病みつきになった。スポーツ [訳注: 狩りや釣り、登山、自動車レースなど、幅広い運動の総称] や運動競技をいくつもやっていた。友だちから受け入れてもらっているという感覚は生きるうえでなくてはならないものだったから、それも病みつきになった。挑戦すれば成し遂げられそうな最高の偉業を探し求めていた。授業や部活動などで良い成機をおさめようと、やる気になって真剣に取り組んだ。優等生であったが、勉学に励むと同時にめいっぱい騒ぎまくった。使う薬物の成分など、どうでもよかった。ランニング(走ること)には、ナチュラル・ハイ(自然な高揚感)がある。だから私は、走ることで脳内に放出される化学物質によって気持ちも身体ももっとハイになることを求めた。そして、校内のいろんなグループに加わって薬物に手を染めるようになると、化学物質を手当たり次第に使いまくり、ランニングはそっちのけになった。そうしてだんだんと、使った薬物に人生を支配されていった。

大学には行ったが、ノイローゼになって退学させられた。私は精神的に不安

定だったので、日頃支えてくれていた人たちがきて学校から連れ戻してくれた。少しずつ身もちくちくしていくなかで、心を揺さぶられるようなことが起こった。NAを紹介されて回復があることを知ったのだ。回復の道を歩むことで、私は精神的に落ち着いた。ひとつの仕事について1年近く働いているから、今のところはうまくいっている。不安定だったころには、仕事についても1ヶ月と続かなかった。クリーンでいる時間が何分、何時間と積み重なって、クリーンで生きる日々がある。そうして回復の道を歩んでいけば、同僚や家族との関係も良好だし、地域社会でもきちんと生きられるようになるだろう。

今の私には、アディクションの日と、回復の日がある。アディクションの日は病気が頭をもたげてくるので、欠点やら、恨みやら、アディクションのさまざまな症状がそのまま行動に出てしまう。それでも、私はさまざまな美術展に参加し、定期的に運動をしている。毎日が充実し、生きる手応えもある。目標は、新しい仲間の手を差し伸べてよりそい、支えとなることだ。そして、NAのおかげで実現しつつある夢もある。私は自分を救えるものなどありはしないと思っていたが、NAにはその力がある。ランニングや運動、そしてアートと写真は、私のアディクションだった。その進行中に薬物が問題になったことで、今の自分がある。今日だけ、私は薬物なしで生きる。そしてこれまでにあったあらゆることと、これからもたらされることに対して、NAに心から感謝する。今日は、回復の日にしよう。

クレイグ・M
(アメリカ合衆国/ミシガン)

サービスによって強くなる

あたしの話は、夢としか思えないものだ。回復の道に踏み出したときのあたしは、**他者**という概念を理解していなかった。考えられるのは自分のことばかり。役に立つことをするってことも、わかっていた。その役に立つなんて、とてもとても。やっと回復の道を歩みだしたところなのよってね。実際には、役に立つことをすればさらに多くのことに取り組む準備ができるし、やらなければならないことをもっとできるようになるのよね。

そこで、まず、ミーティングでお茶やコーヒーを入れ、それから新しいミーティングを開くことに関わった。その後、電話案内サービスの小委員会に参加し、自分が始めたグル



(写真撮影) リッチ・W
(アメリカ合衆国/サウスカロライナ)

ープのGSR（グループのサービス代表）を務めることになった。これを書いている時点で、あたしは電話案内サービス小委員会の委員長を務めている。

あたしは、自分が薬物の使用をやめ、使いたいという欲求を失い、新しい生き方ができるようになるなんて、考えもしなかった。あたしにわかっていたのは、あのまま薬物を使っていたら確実に死ぬだろうってことだった。あたしは心配性で、引っ込み思案で、不器用で、目立つことが嫌い。それが今、こうして小委員会の委員長を務めているなんて、信じられない。でも、役に立つことをするのは自分のためではなく、ほかの人のためなのだと、今のわたしはわかっているし理解もしてる。だから、そういう役目を果たすうえで求められる人間になることができるのよ。あたしがいただいた恵みは、言葉ではとても言い表せないわ。

リンディー・P（ケープタウン）

ずっと 歩いていく

俺は、現実を受け止めてナルコテイクスアノニマスという仲間の集まりで生きることによって、命を救われた。自分に自信がもてなくて、コンプレックスを抱え、恐れ、信頼することができず、無責任で、人を操ろうとしていたが、NAのプログラムによって俺のそういう面が変わってきた。なにしろ、孤立しなくなった。これまでのように仕事が続かないということはなくなったし、使って死ぬのだとは思わなくなった。社会の一員となってきちんとやっているし、人生のあらゆる面でうまく生きられるようになった。

俺は、ひとより劣っているわけでも優れているわけでもない。俺は、俺でしかない。自分の欠点をとおしてそういうことを学んだ。俺はこれまでずっと、ひとを批判して、欺いて、対立して生きてきたのがわかった。否認とエゴが変化に逆らうように仕向けるが、その手に乗れば俺の回復は頭打ちになる。アディクションという病気が、俺は回復するような人間じゃない、俺には奇跡など起こらない、仲間が回復しても俺は絶対に回復はしないと聞きかせる。そうやって、俺の命を救ってくれるものから、俺を遠ざけておこうとす

るんだ。

俺はこれからも回復していく。それには、NAのサービスに関わるのが何よりだ。そうすれば、苦しみながらも回復を求めるアディクトにNAがあることを知ってもらえる。この病気は、長年にわたって患うあいだに、子どもが二人死んだこと、人間関係がダメになること、離婚、破産、あちこちを転々としたことなど、人生のあらゆる面で本性を現してきた。けれども、回復の道を歩むなかで、俺はNAの仲間たちとの関係によって学びもしたし成長もした。俺の回復に、仲間たちが重要な役割を果たしてくれたのだ。

つまり、回復の歩みは、これからも続いていく。それによって知恵も

つけ成熟していくことで俺たちは変化を遂げて苦しみをいやす。そしてステップに取り組み、スポンサーシップを取り、知識の豊富な専門家の助けを求め、そしてNAと自分が暮らす地域社会で役立つことをするのも、回復の歩みになる。俺は、仲間と助け合うことによって解決を見だした。スポンサー、スポンサーたち、新しい仲間たち、そして回復の道を長く歩んでいる仲間たちと話をすることで、気づかされる。こうした経験とNAのプログラムのおかげで、今の俺は自分の行動に責任を負い、心おだやかに暮らし、自由でいられるのだ。

ホセ・R

（プエルトリコ／コロサル）

たまに感謝を忘れるのは、なぜか…
ものごとを正しく
把握しなくちゃってときに、
ノートが手元にないことがある。

それで、自分がありがたく思っていることが、なんだかわからなくなってしまうたりするのよね。

サブリーナ・E（アメリカ合衆国／ウェストバージニア）

Imagine the freedom

WCNA 22 1992年9月3日～6日

カナダ トロント

編集記： 現在とは異なり、1992年にはNAワールドコンベンションの開催地が入札方式によって決定されたため、主催国の実行委員会は「ワールドコンベンション・ボード・オブ・トラスティ」に対して説明責任があったのです。

時は、1989年の秋。トロントのNAではWCNA主催の提案書を提出することになり、入札委員会の結成を前提にメンバーが5人集まって話し合いをしました。5人のうち、2人はニューオーリンズのWCNAに参加していました。このときの参加人数は数千人です。この5人で、そんな大規模なイベントを手がけることができるのだろうか。私たちは不安に押しつぶされそうでしたが、もう一度集まって、入札のガイドラインを見直そうということになりました。

当時、[トロントエリア](#)はハミルトンやバリーにも広がり、グループが20ほどありました。エリアのサービス委員会とオンタリオリージョンが結成されて4年経ち、トロント大学で開催した第1回のリージョナルコンベンションは200名のメンバーを迎えて滞りなく運営されたのです。

しかし、入札のガイドラインを見直す会議を開いたことによって、私たちは能力以上のことをやろうとしているのだとわかりました。私たちに限らず、誕生して間もないNAがこのようなイベントを実行するなど、とてもできるものではありません。5人とも実行委員に求められるクリーンタイムには至っていないし、エリアやリージョンでもコンベンションの経験が足りず、エリアはあまりにも小さい。トロントエリアも[オンタリオリージョン](#)も、WCNAの開催など支持するわけがありませんでしたが、こうなったらもう運を天に任せ、思い切ってやってみようと、開催に名乗りをあげることを全員一致で決定したのです。

そして、エリアとリージョンから支持が得られたことで入札委員会が結成されると、トロント市との会議が何度も開かれました。私たちの入札には、建設されたばかりのトロント・コンベンション・センター利用の諸経費をはじめ、トロント中心にある複数のホテルの客室料金、会場間の移動の交通運賃のほか、さまざまな場所で多数のイベント開催などにかかる費用などが考慮されました。数ヶ月のうちに1992年のWCNA 22の入札は完了しましたが、締め切りまであと2週間しかありませんでした。私たちは最後の会議のために夕食会を開き、ワールドサービスオフィス（WSO）に郵送する入札書類を封入したのです。入札委員会は解散し、ことはすでに神の手にゆだねられました。

数週間して、私たちの入札を認めるという連絡がWSOからありました。それからWSOの職員が2名トロントにやってきて、入札委員会と会談して私たちの提案をひとつひとつ見直したのです。そうして3日間一緒に過ごし、WSOの職員が経験と未来像をわかちあってくれるなかで、あらゆることが非常に現実味を帯びてきました。トロントのほかにも、モントリオールとバンクーバーから入札がありましたが、ワールドコンベンション・ボード・オブ・トラスティによってWCNA 22はトロントで開催されることに決まったのです。

バンザ〜イ！

と、浮かれているわけではありません。トロントのNAではコンベンション実行委員会を結成し、2年間にわたって計画を進めていくことになりました。まずは参加人数を見積もって、予算の作成です。こうしてトロントでワールドコンベンションの



企画が進められる一方、カナダのNAはさまざまな方面でも成長を遂げつつありました。WSOがミシサーガに「カナディアン・ディストリビューション・センター（カナダの配送センター）」をつくることになり、これによってNAの文献や製品はカナダ全土に輸送しやすくなったのです。そして、配送センターがオープンしてまもなく、[カナディアン・アッセンブリ](#)（ゾーナルフォーラム）が結成されました。そうやってカナダのNAが成長し成熟していくのを見つめるのは、心ときめく日々でした。

コンベンション開催を1週間後に控えた週末には、開催会場となるホテルでバーベキューが行われ、約100名のメンバーたちが参加しました。私たちは、数千の登録パッケージを用意しました。また、会場地下の荷積みエリアには何百もの商品が箱積みになっていたもので、それも全部棚卸して整理しなければなりませんでした。

WCNA 22は、世界中から4,500人を超える仲間たちを迎え、成功したのです。このとき参加してボランティアをしてくれたクリーンタイムの長いメンバーたちは、今もなお回復の道を歩み続けています。そして、言い出しっぺである入札委員会のメンバーたちは、ミシェル・F、スーザン・S、ラシエル・A、ウェイン（名字が思い出せない）。この入札委員会の先駆的な精神に敬意を表するとともに、WCNA 22を成功させる原動力となったコンベンション実行委員会と何百人ものボランティアたちを讃えたい。このような素晴らしいコンベンションの実行委員長を務めたことは、私の人生で最高の思い出になっています。あれから25年が経ちました。2017年7月にこれを書きながら、世界中のアディクトたちに思いをはせています。クリーンで生きてNAの回復の道を歩んでいれば、それによってもたらされる自由を、今も心に思い描くことができるでしょう。

シヨーン・S（カナダ／オンタリオ）

WCNA 19:

不思議な力が「あそこには」あった

29年前

WWCNA 19、フロリダのオーランド… なつかしいなあ。僕は、クリーンになって3年だった。あのとき、NAの成長について語ってくれたオールドタイマーたちがいたから、よし、僕もがんばろうという気になった。それにしてもまあ、NAはあれから「それはもう立派に」成長を遂げたもんだ。NAにとどまったからこそ、そんな成長を眺めつつクリーンで生きることを楽しめた。ありがたいことだ。今日だけ、どんなことがあろうと使わない。今度のコンベンション [WCNA 37] には、31年のクリーンタイムで参加するんだ。仲間がいてよかった。ダンカン・B (アメリカ合衆国/カリフォルニア)



マジックにまつわる思い出

今回、WCNAがまたもやオーランドであるっていうんで、オレは興奮している。1989年にオーランドでやったWCNA 19に参加したからだ。オレはクリーンになって5年で、すでにWCNAは前回と前々回に経験済みだった。1987年のニューオーリンズと、1988年のアナハイムだ。それで、回復の道をゆくアディクトのなかでも、WCNA通になった気でいた。

オレがフロリダには行くのは、あの時で2回目。その前は、1989年の初めて、マイアミで年に4回開かれるワールドサービスカンファレンスへの出席だった。オーランドは、まったく美しいところだった。そして街全体が高揚していた。WCNAの開催と時を同じくして、地元「ザ・マジック」というプロ・バスケットチームがデビューすることになっていたからだ。NAのコンベンションのテーマ「ザ・マジック・イズ・リアル (不思議な力がここにはある)」とオーランドのプロバスケットチームとが、「マジック」という言葉を共有していたんだ。チームのスター選手 (シャキールという名前のやせっぽちの新人) の写真が、街のいたるところに貼られていて、地元ではこのチームの話題でもちきりだった。

あのとき経験した高揚感のなかでも、オレの「ザ・マジック・イズ・リアル」と記したコンベンションのジャケットを見せびらかすのは、最高に気分がいいものだった。くそ、あのジャケットはすごく気に入ってたのに、いつの間にかどっかにいっちゃったんだ。だから、今回のテーマがWCNA 19のときとほとんど変わらないのが、すごくうれしい。新しいジャケットを手にするのが待ちきれないよ。今度は、失くさないようにうまくやるさ。

最後に取りあげる思い出は、あんまりウケないかもしれない。オレは、ジョン・Kのことを覚えている。ニューヨークからやってきた感謝の気持ちで回復の道を歩むアディクトだ。アフリカ系アメリカ人が踊れる音楽のダンス・イベントをやってくれという嘆願書をWSOに提出するんだと言って、オーランドのWCNA 19でメンバーたちに署名を求めて回っていたんだ。WCNA 19にはアフリカ系アメリカ人がたくさんいたかどうか思い出せないが、ジョンとその嘆願書のことははっきり覚えている。オレはすごい意気込みで署名したからな。

そして面白いことに、オレはこの間何人かのメンバーから、WCNA 37で「ステッピン・セット」をダンスイベントに加えるように、NAワールドサービスとワールドボードにリクエストしてもらえないかと言われたんだ。「ステッピン・セット」ってのは、アフリカ系アメリカ人のNAメンバーたちに人気のあるダンスで、R&Bもそのひとつだ。オレはリクエストしてやったから、きっとジョンも鼻高々だろうな。リクエストが通るかどうかは、すぐわかるだろう。さらなる気づきもたらされるってわけだ。

デイビッド・W
(アメリカ合衆国/ジョージア)



ゲーリー&ウェンディ・P (アメリカ合衆国/アリゾナ)

オーランドに戻る・初心に戻る

私のコンベンション初体験は、1989年にさかのぼります。WCNA 19。テーマは「ザ・マジック・イズ・リアル (不思議な力がここにはある)」でした。私はクリーンになって3年で、素晴らしい伴侶を得て、幼い子どもが2人いました。オーランドでは、将来「大物になる」ハツカネズミも同行し、子どもたちが眠くて足元がおぼつかなくなると、ホテルに戻ってベッドに寝かせてから、私は高速道路でWCNAに向かいました。今では子どもたちも成長し (ひとりは回復の道を歩んでいます)、私たち夫婦も仲よく年を取り、ハツカネズミも変わりなくやっています。私も元気で、再びオーランドに向かうことになり、1989年に初めて参加したときと同じぐらい高ぶる気持ちをおさえきれずにいます。いささか年をとった分だけ、賢くなりたいものです。あの不思議な力は「今も」存在するのですから。

アノニマス (アメリカ合衆国/カリフォルニア)

ここをクリックするとWCNA 19にまつわる話をさらに読めます。



このような共通の立場で、私たちは全力を尽くす。

2018年度のワールド サービス カンファレンス [WSC] は、2018年4月28日から5月5日にかけてカリフォルニア州ウッドランド・ヒルズで開催されました。WSCはNA全体によるサービスの集会であり、NA全体にとって重要な問題を話し合うために2年おきに開催され、ナルコティクス アノニマス全体によるグループの良心に従ってNA全体を支援しているのです。

WSCは数年の間に、議会運営手続きを用いることから合意に基づく意思決定を用いることへと変貌を遂げてきました。それをさらに推し進めるため、今回のカンファレンスでは運営手順と方針にさまざまな変更がみられたのです。そしてまた、初めてことが多いカンファレンスでもありました。「第一のものは第一に」と銘打たれたセッションで幕を開けたことも、そのひとつ。これによって審議が始まる前に、自己紹介と全体が心をひとつにする時間が設けられたのです。最後は「平安の祈り」が参加国のそれぞれの言語（今年25言語）で一斉に唱えられました。この心揺さぶる祈りの光景は、今月号のインターネット版NA Wayに動画が掲載されています。

紙面の都合により、ここには8日間にわたる今回のWSCについて特筆すべきことを一部掲載しました。議事録をはじめ、WSCに関する総合的な情報については、www.na.org/conference をご覧ください。

「カンファレンス始まって以来」のこと

- 一部の出席者は、インターネット接続による出席で議事に参加。これはビザを取得できなかったことによるもので、イランのリージョナル デリゲート [リージョン代表] と、イランおよびオーストラリアのオルタナティブ デリゲート [代表代理] がインターネットによる参加となった。
- 5つのゾーナルフォーラムのゾーン代表が、議決権のない出席者として参加。これは、[アジア・パシフィック フォーラム](#)、[カナディアンアッセムブリー](#)、[ヨーロッパアン デリゲート ミーティング](#)、[ロシアン・スピーキングゾーン](#)、[サザン ゾーナルフォーラム](#)の代表たちである。
- 正式な議事において議会運営手続きが用いられず、すべて合意に基づく意思決定を発展させたかたちで決議が行われた。
- グランド・サンパウロ、HOW、リオデジャネイロが議決権を持つメンバーとして出席



WSCの少人数によるグループ・ディスカッション
イランのRD [リージョン代表] がインターネットによって（ノートパソコンの画面上で）参加

WSCの開会式は、カンファレンス出席者がそれぞれの国の言語で唱える「平安の祈り」によって終了



ここをクリックすると
25ヶ国語による「平安の祈り」を聞くことができます。

2018年度WSC 選挙結果

ワールドボード
ハムメド・A-T
イレーネ・C
リブ・E
ポール・F
タナ・A
ヨエル・G

ヒューマン リゾース パネル
クレイグ・R
ナサニエル・M

WSC 共同ファシリテーター
ダニエル・C

2018年から2020年にかけて 検討すべき課題

(以下の議題のうち、最初の2つは、WSCによってカンファレンス アジェンダレポートのフェローシップ調査から選ばれ、3つ目は6月に開かれたワールドボードの会議で追加されました)

- ・「メンバーたちをサービスに引きつける」
- ・「NAのメッセージを運ぶこと」と「NAに関心を持ってもらうこと」
- ・NAに関係のある「薬物代替療法（DRT）および投薬治療（MAT）」

2018年から2020年にわたるプロジェクト

- ・「将来のWSC」
- ・「日々の黙想」に関する新しい書籍
- ・「精神の健康や疾患に関するIP [インフォメーションパンフレット]」
- ・「研修とツール」
 - 「ローカルサービスに関するツールボックス」
 - 「コンベンションとイベントに関するツールボックス」

WSCについてさらに詳しく知るには、
『NAWSニュースレター』

(www.na.org/newsnews)や

議事録をはじめとする記録文書

(www.na.org/conference).をご覧ください



NAWS [NAワールドサービス] のエグゼクティブ・ディレクターと
ワールドボードの議長 2018年度WSCにて

しほしの黙想のあとに、「平安の祈り」を唱える。そして、ワールドサービスカンファレンスへの心からの歓迎のあいさつが終わると、出席者たちにはワールドボードの議長アーン・H-Gから以下のような「飛行上の注意」がありました。

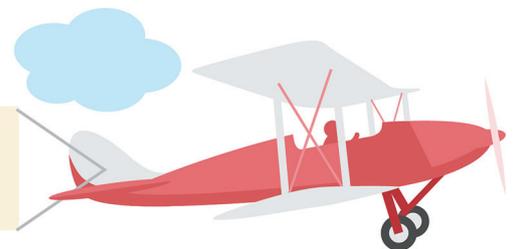
この1週間で平静に向かう飛行にご参加いただき、ありがとうございます。今回の「空の旅」は、5月5日をもって終了となります。わたしたちは、約3~10フィートの高度で旅することになります（みんなハイな状態にいるのに慣れてますからね）。コックピットには高みにおけるエキスパートがおりますので、どうぞご安心ください。本日の機長は、「神」なのです。

みなさんはステップに取り組んでこられたのですから、飛行中は「お荷物」をきちんとしまっておかれるようお願いいたします。巡航高度に達したら、機内を自由に歩き回れます。席についている間は、安全のためにシートベルトをしっかりと閉めておいてください。

乱気流の発生によって「感情」のライトが点灯しますが、うろたえないようにしてください。頭上のコンパートメントから、スポンサーが自動的におりてきます。スポンサーシップを結んで、呼吸を整え、ステップに取り組んでください。さもないければ、スポンサーに電話をして助けを求めただけでもいいでしょう。新しい仲間と旅をしている場合には、まずステップありきとし、ステップを踏みながら回復の道を歩んでいけるようにしてあげましょう。

何らかの理由で「混乱の海」に緊急着陸しなければならない場合は、ホールの向こう側にベーシックテキストが置いてあり

WSCエアラインに ようこそ



ます。ビニールの包装を解いて、ベーシックテキストを開いてください。これがりっぱな救命胴衣になるのです。

また、この飛行機には新しい安全装置を搭載しました。「エゴ」という会社で製造された生命維持機器です。ただし、この種の装置は、いざというときに使用「しない」ようにするとうまく働くことがわかったのです。とはいえ、「エゴ」は自動的に作動してしまうかもしれません。ですから、くどいようですが、くれぐれも「エゴ」は使わないでください。飛行機の中では、増大したエゴほど危険なものはありません。同乗の仲間が誤って「エゴ」を作動させているのに気づいたら、教えてあげてください。まあ、その際には、反発されても仕方ありません。

私たちは、みなさんをお乗せできてうれしく思います。では、離陸の準備に入りますので、座席を元の位置に戻してシートベルトを締めてください。WSCエアラインをご利用いただき、ありがとうございます。ご満足いただける旅になることを、願ってやみません。

アーン・H-G (カナダ/オンタリオ)

2018年度WSCの統計資料

- ・ 議決権のある118のリージョンのうち、114のリージョナルデリゲート（RD：リージョン代表）が出席。イランはインターネットによる参加。デンマーク、エクアドル、エルサルバドル、フランスは欠席。
- ・ 議決権を持って出席したRD 114名のうち、合衆国は65名、カナダは5名、それ以外の国は44名であった。
- ・ 議決権を持って出席したオルタナティブデリゲート（AD：代表代理）89名のうち、合衆国は63名、カナダは4名、それ以外の国は22名。イランとオーストラリアのADはインターネットによる参加。
- ・ カンファレンス出席者はRDならびにAD、ワールドボード（WB）のメンバー、ゾーンナリデリゲート（ZD）によって構成され、男性は154名、女性は67名であった。
- ・ カンファレンス出席者の国の数は、39カ国。話す言語は（「第一のものは第一に」のセッション終了に唱えた「平安の祈り」により）25種類であった。
- ・ 今回のWSCで議決権を行使したメンバー127名のうち、RDは14名、ワールドボードのメンバーは13名。また、議事参加者は、AD89名、ゾーンナリデリゲート4名、共同ファシリテーター2名、通訳3名、議会法規に精通したメンバー1名であった。
- ・ 新しく議決権を持つことになったリージョンは3つ。オランダ、メキシコ/オクシデンテ、ウクライナである。
- ・ 今回のWSCでは、36の動議が可決。1つがWB [ワールドボード] に委ねられ、21の動議が否決された。そして、取り下げもしくは取り上げられなかった動議が7つあった。以下は、可決した動議の1部である。
 - **動議 1**：プロジェクトプランの作成。『ソーシャルメディアとNAのガイディングプリンシプルズ』というサービスに関するパンフレットを、回復に関するパンフレットに改編することを目的とする。
 - **動議 5**：ベーシックテキストにある祈りを、内容はそのまま「文章を書き記す」という文言を「役に立つ」という文言に置き換えることにより、NAのサービスに関する祈りとして利用する。
 - 『神さま、あなたの教えに沿って文章を書き記す役立つことができますよう、どうぞその知恵お与えください。あなたの目的が私たちのなかに深く刻み込まれますように。私たちがあなたの意志を伝えるしもべとなり、利己心のないきずなになれるように。そして、私たちではなくあなたの行いによって完成したこの本が、アディクションという恐怖のために命を失うアディクトをこの世からなくす道具になりますように』
 - **動議 9**：プロジェクトプランを作成し、「DRT（薬物代替療法）とMAT（投薬治療）」をテーマとする回復に関

する文献を制作または改訂する。（ワールドボードの6月の会議によって、「DRTとMAT」はNAに関係があるとして検討すべき課題に追加されたため、このプロジェクトプランは作成しやすくなった）

- **動議 12**：2019年の初めに、パブリックリレーションズ・ウィーク [広報週間] を実施する。
- **動議 13**：WB [ワールドボード] に対して、毎年のカレンダーに「ユニティデー」のような特別な日をさらにいくつか定める権限を与える。
- **動議 16**：ゾーンの果たす役割、ゾーンとNA全体との関係、WSCの意思決定にゾーンナリデリゲート [ZD /ゾーン代表] を参加させることについて、2020年度のWSCでプロジェクトプランを提示する。
- **動議 18**：ゾーンナリフォーラムにWSCの議決権を持たないNAまたはリージョンが2つ以上参加している場合には、WSCにZDを1名送ることによって、このようなNAまたはリージョンの声を代弁できる。
- **動議 19,20,21**：ゾーンナリデリゲート [ZD /ゾーン代表] は1票を持ち、WSCで投票に参加する。従って、WSCへの出席においても、リージョナルデリゲート [RD /リージョン代表] と同じく資金提供（旅行、宿泊費、食事費）の対象となる。また、オルタナイトZD [AD /ゾーン代表代理] に関しては、オルタナイトRD [AD /リージョン代表代理] と同じ権利と制限によるWSC参加が認められる。
- **提案 A**：カンファレンス出席者がビザ取得の問題によって出席不可能な場合には、WSCへの遠隔参加を承認する。
- **動議 26-29, 50-59, 30**：WSCの議事運営の手順に対する各種動議。これは2018年WSCで実験的に採用され、うまくいった場合には今後の運営方法とすることで、2016年度WSCの議事録を承認する。
- **動議 31, 32, 33, 34**：「将来のWSC」、「精神の健康や疾病に関するインフォメーションパンフレット [IP]」、「『日々の黙想』に関する新しい書籍」、「研修およびツールに関するプロジェクトプラン」について、それぞれのプロジェクトプランを承認する。
- **動議 35, 36**：予算案および2018年から2020年までの2年間による返済方法を承認する。
- **動議 37**：「ローカルサービス・ツールボックス・プロジェクト」および「コンベンション・アンド・イベント・プロジェクト」によって作成されたサービスに関する資料は、90日間の見直し原稿としてカンファレンス出席者に配布され、この見直しを終えたのちにワールドボード承認文献となる。
- **動議 38, 39, 40**：オランダ、メキシコ - オクシデンテ、ウクライナに議決権を与える。

神さま、あなたの教えに沿って役立つことができますよう、どうぞその知恵お与えください。あなたの目的が私たちのなかに深く刻み込まれますように。私たちがあなたの意志を伝えるしもべとなり、利己心のないきずなになれるように。そして、私たちではなくあなたの行いによって完成したこの本が、アディクションという恐怖のために命を失うアディクトをこの世からなくす道具になりますように。



ワールド ユニティ デイ

2018年9月2日
日曜日
(東部夏時間)午前11:30

WCNA 37の閉会式に、
世界中の何千人ものアディクトと、
一緒に参加しよう。

○アメリカ合衆国フロリダ州オーランドから
世界中の家庭へ、ミーティング会場へ、施設へ、
矯正施設へ、イベント会場へと
NAのメッセージが届けられる。
そのメッセージを聞くために、世界中のNAの仲間たちが
ひとつになるのだ。



実況中継

WCNA 37では、
木曜、金曜、土曜の
夜のメインミーティングも
オーディオ・ストリームに
なります。
ミーティングのスケジュールと
ウェブキャストのリンクは
www.na.org/wcna37streaming
でご確認ください。

無料のインターネット・オーディオ・ストリームに
アクセスしよう！

英語: <http://mixlr.com/nawsstream/>

スペイン語: <http://mixlr.com/nawsstream2/>

仲間たちと集まってメッセージに耳を傾ける場合には、そのイベント
についてお知らせください。みなさんのイベント情報は、オーランドや
世界中の仲間たちに向けた「シャウトアウト」の実況中継に参加して
もらうために利用させていただきます（そして、みなさんからの情報や写
真は、NA Wayマガジンでも使わせていただくかも知れません）

イベントの詳細と連絡先は、Eメールまたは電話でお知らせください。
keri@na.org または 818-773-9999 (内線156)

7:30a
2 Sep

11:30a

5:30p

8:00p

10:30p

3:30a

みなさんの現地時間を確認するには、以下のサイトをご利用ください。
www.timeanddate.com/worldclock/converter.html

今回から、インターネットストリームへのアクセスが不可能な施設を除いて、電話回線接続システムは利用しません。これに代わるものとして、無料インターネットストリームをご利用ください。公共の機関や施設などの接続について詳しく知るには、jane@na.or / 818-773-9999 (内線159) へお問い合わせください。



グループ紹介

NAWayでは、世界中のNAからミーティング会場やイベントの写真が送られてくるのをお待ちしております。ただし、集まっているメンバーがどこのどれとわかる写真をご遠慮ください。なお、写真には、グループやイベントの名称、所在地および国名はもちろん、グループやイベントが誕生してどのくらい経つのか、ミーティングの形式やイベントで大事にしている習慣、ユニークな点など、グループやイベントの紹介文を添えていただくようお願いいたします。宛先は、naway@na.org となっています。

暗がりが、回復の場になる

リオグランデ・ド・スル（ブラジルの最南にある州）の州都ポルトアレグレには、レデンセンという公園がある。広さが37万平方メートルもある大きな公園で、スポーツをしたり、キメラ・ホイール（伝統的な飲み物）を飲んだり、あるいは家族や友人とのんびり過ごしたりする憩いの場になっている。だが、ここには、薬物常用者や人身売買業者もたくさんうろついている。そういう場所だからこそ、「ミラグレス・ド・メイオディア（真昼の奇跡）」という名のナルコティクス アノニマスのグループは、2018年2月25日に第1回の野外ミーティングを開いたのだ。

出席者は20人ちょっと。わかちあいの合間には、鳥のさえずりや周囲にそびえ立つ樹々の葉がこすれあう音が聞こえてくる。そしてわかちあいでは、「自分は、ここで薬を使ってた」とか「ここで売人をやってた」とか、それぞれの打ち明け話がつづく。それが今は、クリーンで生きられるようになってこの場にいることで、回復が浮き彫りになる。最後に祈りと黙想を行ってからミーティングを終了したが、メンバーのひとりが奏でるフルートの音によってステップ11が身にしみるものになった。

そうなんだ。市民にいちばん親しまれている公園であっても、暗がりはある。それが犯罪の温床や、人間のクズになってビクビク生きているアディクトのかくれ家になるのも珍しいことじゃない。そんな「暗がりの一画」であの晴れた日曜日に開かれたミーティングは、実に健全で生き生きとした開放感に包まれた。それこそが、回復のなせるわざだろう。

クリス・B（ブラジル／リオグランデ・ド・スル）



第10回 サービス研修会（ケニア／モンバサ）2013年10月



パイオニア・グループ（アメリカ合衆国／カンザス）
NAWay 2014年10月号



パイオニア・バレー・エリア (アメリカ合衆国/マサチューセッツ) NA Way 2016年10月号



J・アメリカ・グループ (アラジル/リオデジャネイロ) NA Way 2006年10月号



Au Coeur de la Nature [自然のまっただなかで] キャンプアウト (カナダ/ケベック) NA Way 2016年7月号



フルーリッジ・エリア・オフ・NAキャンプアウト (アメリカ合衆国/バージニア) NA Way 2012年1月号



フライデーナイト・グループ (英国/マンチェスター) NA Way 2011年7月号



エイント・デッド・イエット・グループ (アメリカ合衆国/コロラド) NA Way 2004年4月号



Grupo Nunca Mas Solos [もうひとりじゃない] (チリ/サンチャゴ) NA Way 2014年7月号



クリーン&フリー・グループ (アメリカ合衆国/ワイオミング)
NA Way 2014年10月号



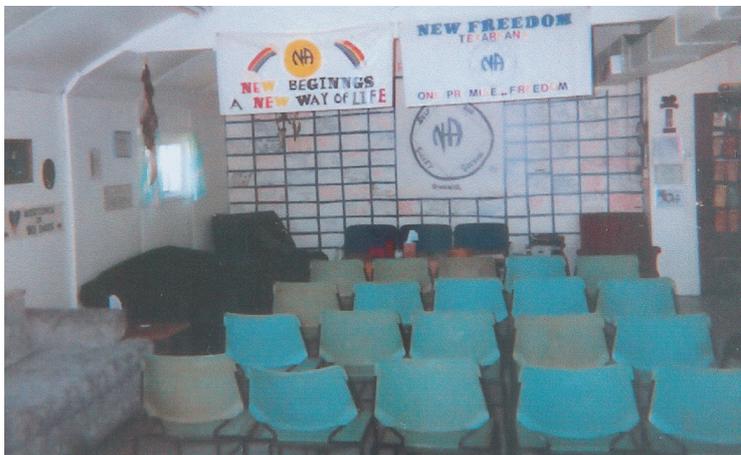
ノースウェスト・ミシガン・サービスコミティ
(アメリカ合衆国/ミシガン) NA Way 2015年4月号



ノースハリウッド・ステップスタディ・グループ [別名 ヤ・シガー・ミーティング] (アメリカ合衆国/カリフォルニア)
NA Way 2017年10月号



アラニング・アッセンブリー・ワークショップ
(ロシア/ハバロフスク) 2013年



ニュー・フリーダム・グループ (アメリカ合衆国/テキサス)
NA Way 2005年1月号



ネサ・グループ (イラン/ネサ) NA Way 2017年4月号

NA Way読者調査: NA Wayマガジンを充実させるためにご協力を!

1. NA Wayマガジンを定期購読していますか?

- はい: インターネット版
 はい: 紙版 (質問2と3は、回答不要)
 はい: 紙版とインターネット版
 いいえ (質問2と3は、回答不要)
 「はい」と答えた方は、購読期間はどのくらいですか?

2. インターネット版は、どのようにして読みますか?

- Eプラストのメールにあるリンクをクリックする。
 NAのホームページ (www.na.org) を開く。
 ページを開くことも読むこともしない。
 「ページを開くことも読むこともしない」のはなぜですか?

3. インターネット版の特別ページで、毎月決まって開くのはどれですか?

- (該当するものを、すべてチェック)
 画像保存やプリントアウトのできる表紙のポスター
 追加記事
 画像保存やプリントアウトのできる付録写真
 NA文献に関するリンク
 NAに関するウェブサイトにつながるリンク
 特別ページは開かない
 「特別ページは開かない」のは、なぜですか?

4. NA Wayは、どういう雑誌でしょうか? (該当するものを、すべてチェック)

- 今っぽい
 時代遅れで古くさい
 記事が長すぎる
 記事が短すぎる
 ごちゃごちゃ詰め込みすぎ
 雑誌で手にするには、サイズ (8L2x11インチ) が大きすぎる
 以上のほかに (具体的に書いてください)

5. Please rate how relevant or interesting each section

NA Wayの各欄は、自分にとってどのくらい関係や関心がありますか。

(5段階評価 1. 関係も関心もない ~ 5.とても関係や関心がある)

	関係も関心もない	あまり関係や関心がない	どちらとも言えない	多少は関係や関心がある	とても関係や関心がある
編集者からひとことr	<input type="radio"/>				
特集/わかちあい	<input type="radio"/>				
Service Center	<input type="radio"/>				
フェロシップディベロップメント/広報活動	<input type="radio"/>				
グループ紹介	<input type="radio"/>				
ベーシック・キャプション・コンテスト	<input type="radio"/>				
ワールドサービスに関する最新情報	<input type="radio"/>				
Calendar	<input type="radio"/>				
Product Update/Coming Soon	<input type="radio"/>				

6. NA Wayマガジン全般の評価は、10段階評価 (1.つまらない ~ 10.読み応えがある)ではいくつですか?

7. 評価が10でないとすると、みなさんが10をつけたくなる雑誌にするにはどうしたらいいでしょうか?

8. どの国にお住まいですか?

9. クリーンタイムは、どのくらいになりますか?

- 1年未満 21~25年
 1~5年 26~30年
 6~10年 30~40年
 11~15年 40年以上
 16~20年

10. 年齢は、おいくつですか?

- 17歳未満 50~59歳
 18~29歳 60~69歳
 30~39歳 70~79歳
 40~49歳 80歳以上

アンケートの回答方法

インターネット<http://www.surveymonkey.com/r/NAWay>で直接記入。
 宛先「NA Way Magazine Survey」で、19737 Nordhoff Place; Chatsworth, CA 91311へ郵送。
 件名「NA Way Magazine Survey」で、naway@na.orgへ写メール。



カレンダー

Multiday events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at www.na.org/events. (If you don't have internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or *The NA Way*; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

Canada

Saskatchewan 17-19 Aug; Southern Saskatchewan Area Convention 34; Core-Ritchie Centre, Regina; southskna.org/events

Prince Edward Island 19-21 Oct; Canadian Convention 26; canadianconvention.com

Denmark

Skanderborg 3-5 Aug; Convention & Camp 11; Audonicon, Skanderborg; namidtjylland.dk/konvent/index.htm

Finland

Lahti 17-19 Aug; Finland Region Anniversary Convention 20; Sibelius Hall, Lahti; nasuomi.org/na30beta/in-english

Germany

Berlin 7-9 Sep; Berlin Area Convention; Statthaus Bocklerpark, Berlin; na-berlin.de/de/service/bcvk

India

Goa 27-29 Sep; Bangalore Area Convention 8; The Byke Old Anchor, Goa; blacna8.org

Ireland

Letterkenny 19-21 Oct; Irish Regional Convention 33; Radisson Blu Hotel, Letterkenny; na-ireland.org

Mexico

Tijuana 12-14 Oct; Baja Costa Area Convention; Gamma de Fiesta Inn, Tijuana; event info: 858.277.6438; (Mex) 664.491.5915

Netherlands

Amsterdam 10-12 Aug; Netherlands Regional Convention 30; Pakhuis West, Amsterdam; nanl30.nl/en

Paraguay

Asuncion 28-30 Sep; Paraguay Regional Convention 2; Granja Mi Retiro, Asuncion; na.org.py

Turkey

Fethiye Mugla 26-28 Oct; Turkey Regional Convention 16; Jiva Beach Resort Hotel, Fethiye Mugla; na-turkiye.org

United States

Alabama 5-7 Oct; Greater Mobile Area Convention 21; Mobile Marriott, Mobile; gmacna.com

Arizona 21-23 Sep; Productive Members of Society Group Women's-Oriented Retreat 20; Whispering Pines Camp, Prescott; arizona-na.org

(2) 28-30 Sep; Southeastern Arizona Convention 4; Windemere Hotel, Sierra Vista; natucson.org/convention.html

California 2-5 Aug; Campout 9; Rollins Lake-Long Ravine Resort, Colfax; <http://flyers.sonomacounty.org>

(2) 10-12 Aug; Mountain High Campout; Meeks Bay Resort, Tahoma; event info: [mmsmile71@yahoo.com](mailto:msmiley71@yahoo.com)

(3) 24-26 Aug; 11th Step Retreat 6; Belden Town Lodge/Campground, Belden Town; event info: singinquigley@gmail.com

(4) 5-7 Oct; First Band of Brothers Men's Convention; Holiday Inn, San Jose; bandofbrothersconvention.org

Colorado 24-26 Aug; Colorado Regional Women's Retreat 5; YMCA Snow Mountain Ranch, Granby; wrcna3.org

Connecticut 24-26 Aug; Central Connecticut Area Spiritual Weekend 30; Enders Island, Mystic; ctna.org

Hawaii 25-28 Oct; Hawaii Regional Convention 26; Royal Lahaina Resort Hotel, Kaanapali; na-hawaii.org

Illinois 9-11 Nov; Greater Illinois Regional Convention 22; Four Points by Sheraton, Fairview Heights; centralillinoisna.org

Indiana 28-30 Sep; Central Indiana Area Convention 15; Crowne Plaza Indianapolis Airport, Indianapolis; centralindiana.org

Louisiana 9-11 Nov; Camp Recovery; Lake Bistineau State Park, Doyline; nlana.net

Maryland 14-16 Sep; Unity Retreat River of Hope 12; Lions Camp Merrick, Nanjemoy; cprna.org

Michigan 10-12 Aug; R&R at the Fort; Camp Fort Hill, Sturgis; michigan-na.org

(2) 9-11 Nov; Macomb Area Convention 8; Wyndam Garden, Sterling Heights; michigan-na.org/macomb-area/

Montana 28-30 Sep; Montana Regional Fall Convention 8; Radisson Hotel, Billings; namontana.org

Nevada 27-30 Sep; Region 51 Convention; Gold Coast Hotel and Casino, Las Vegas; region51na.org

New Mexico 25-26 Aug; White Sands Campout & Meeting Under the Full Moon; White Sands National Monument Park, Alamogordo; loma.riograndena.org

New York 20-23 Sep; Western New York Regional Convention 22; Radisson Hotel Niagara Falls, Grand Island; nawny.org

(2) 18-20 Jan 2019; Nassau Area Convention 16; Huntington Hilton, Melville; nacna.org

North Carolina 3-5 Aug; Surrender to Win 16; Best Western Plus Hotel & Spa, Winston-Salem; tcana.org

Oregon 7-9 Sep; Ride 4 Recovery; Camp Remote, Myrtle Point; ride4recoveryoregon.com

(2) 12-14 Oct; Sisters in Spirit Women's Retreat; Kah-Nee-Ta Resort, Warm Springs; ccanasistersinspirit.com

Pennsylvania 28-30 Sep; Delaware County Area Convention 5; Marriot Renaissance Philadelphia Airport, Essington; nadelco.org

South Dakota 14-16 Sep; South Dakota Regional Convention 21; Best Western Plus (Ramkota Hotel), Sioux Falls; sdrna.com

Texas 12-14 Oct; Frolic in the Woods 27; Garner State Park, Concan; eanaonline.org

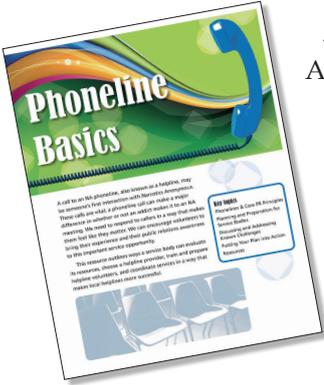
Vermont 16-19 Aug; Back to Basics Campout 34; Boy's Camp, Wallingford; gmana.org

Virginia 3-5 Aug; Almost Heaven Area Convention 32; Northern Virginia 4-H Center, Front Royal; almostheavenareana.org

(2) 31 Aug-2 Sep; Marion Survivors Group Campout; Hungry Mother Lutheran Retreat Center, Marion; event info: mfisher71@hotmail.com

Washington 17-19 Aug; Summer Sizzlers 30; Red Lion Hanford Inn, Richland; 3citiesna.org

NAWS Product Update



Phoneline Basics

A brief guide to coordinating an effective phoneline, adapted from the *PR Handbook*.

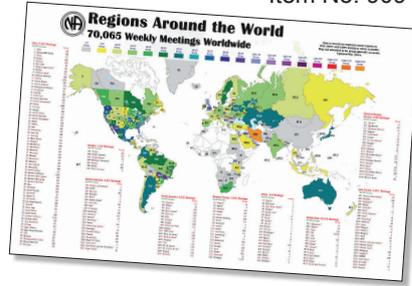
Item No. 2117
Price US \$1.85/1.54 €

2018 Banners

World Regional Meetings Map

Item No. 9090 Price US \$82.10/69.85 €

Item No. 9091 Price US \$50.30/42.70 €



Afrikaans

IP #7: Is ek 'n verslaafde?

Item No. AF3107 Price US \$0.25/0.22 €

IP #9: Leef die program uit

Item No. AF3109 Price US \$0.25/0.22 €

Literature Timeline

Item No. 9095 Price US \$104.10/88.50 €

Item No. 9096 Price US \$63.70/54.10 €



IP #11: Borgskap

Item No. AF3111 Price US \$0.25/0.22 €

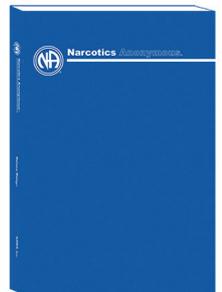


Bahasa Melayu

Basic Text (5th Edition)

Narcotics Anonymous

Item No. BM1101 Price US \$8.30/7.25 €



IP #22: Welkom by Narkotika Anoniem

Item No. AF3122 Price US \$0.25/0.22 €

IP #7: Adakah Saya Seorang Penagih?

Item No. BM3107 Price US \$0.25/0.22 €

Arabic

Information about NA

معلومات عن زمالة المدمنين المجهولين

Item No. AR2302 Price US \$0.32/0.29 €



Hebrew

NA Groups & Medication

קבוצות אנ-איי וטיפול תרופתי

Item No. HE2205 Price US \$0.33/0.28 €





Japanese

IP #7: 私はアディクトなのだろうか?

Item No. JP3107 Price US \$0.25/0.22 €

IP #14: ある仲間の経験——受け入れること、信じる心、本気で取りかかろうとする決意について

Item No. JP3114 Price US \$0.25/0.22 €

IP #16: 新しく来た仲間へ

Item No. JP3116 Price US \$0.25/0.22 €



IP #22: ナルコティクス アノニマスへ ようこそ

Item No. JP3122 Price US \$0.25/0.22 €

IP #23: 施設や病院を出たあともクリーン を続けるには

Item No. JP3123 Price US \$0.25/0.22 €

Polish

An Introductory Guide to NA

Wprowadzenie do Wspólnoty Anonimowych Narkomanów

Item No. PL1200 Price US \$2.15/1.85 €

IP #21: *Samotnik – Pozostawanie czystym w odosobnieniu*

Item No. PL3121 Price US \$0.33/0.28 €

Disruptive & Violent Behavior

Zakłócające i agresywne zachowanie

Item No. PL2204 Price US \$0.25/0.22 €



Portuguese

IP #13: *De Jovens Adictos para Jovens Adictos*

Item No. PO3113 Price US \$0.33/0.28 €

Russian

Social Media & Our Guiding Principles

Социальные сети и наши путеводные принципы

Item No. RU2207 Price US \$0.33/0.28 €

Coming Soon!

NA Service Prayer poster

Approved by WSC 2018, small service prayer poster will be added to our existing paper set.

Item No. 9078 Price US \$1.55/1.45 €

The Basic Library

A box set of our five basic recovery books in softcover: Basic Text, *Just for Today*, *It Works*, *Living Clean*, and *Guiding Principles*

Afrikaans

Basic Text (5th Edition)

Narkotika Anoniem

Item No. AF1101 Price US \$8.30/7.25 €

Arabic

It Works: How & Why

إنه ينجح

Item No. AR1140 Price US \$9.00/7.90 €

Swedish

Living Clean: The Journey Continues *Living Clean: Resan fortsätter*

Item No. SW1150 Price US \$10.35/8.15 €

